PROLOGUE
カドゥケウス機関とは

―― 時に 2018 年。人類の歴史に新たな影が落ちる。
発生地、原因、有効な治療方法のすべてが不明な、
死に至る奇病【ギルス〈guilth〉】の出現である。

その最凶最悪の脅威に立ち向かうのが、医療の裏の歴史を支え、
あらゆる病の撲滅を目的とする世界組織【カドゥケウス】である。

一般社会には、難病の研究をする機関として認知されている
特定医療研究団体【カドゥケウス】。
しかし、その実態は「医療テロ」や「人類の脅威となる劇症型の伝染病」と
闘うために結成された特務機関であった。

忍び寄る医療テロの足音。奇病【ギルス】の脅威。

人類の未来は、特務機関【カドゥケウス】、そして
若き外科医【月森孝介】の手に委ねられることとなる。

MAIN CHARACTER
ふたりの主人公

月森孝介 *KOUSUKE TSUKIMORI*

本作の主人公。北崎病院に勤める26歳の外科医。父親を病院で失ったのがきっかけで医師を目指す。研修医から上がったばかりだが、恐るべき素質を秘めており、医師としての使命にも燃えている。

MILLA KIMISHIMA **ミラ・キミシマ**

もうひとりの主人公で日系3世の27歳。若くしてアメリカ医学会の注目を浴びた優秀な外科医だが、現在は交換医師として来日し、聖トビト病院に勤務中。彼女も月森同様、特別な能力を持っている。

SUB CHARACTER
主人公を取り巻く人々

利根川アンジュ *ANGE TONEGAWA*

北崎病院の新看護師で、ドイツ人の血を引く21歳のクォーター。研究者の家系に生まれ、WNLS（国際看護資格）を持つ。卓越した知識で月森をサポートする。

SHINICHI KUTSUKAKE **沓掛真一**

北崎病院の外科医局長。手術室では冷静沈着をモットーとする、医局を取り仕切るリーダー的存在。月森をきびしく叱咤し、彼に医師としての使命を伝える。

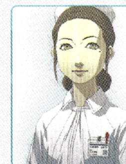
北崎威一郎 *IICHIROU KITAZAKI*

北崎病院の院長。62歳。かつては医神と呼ばれ、多くの難手術を成功させた日本を代表する外科医であったが、現在はもっぱら管理事務の仕事にあたっている。

SOUJI KUTSUKAKE **沓掛宗二**

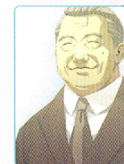
日本カドゥケウス局長。35歳。伴侶を病で失ったのをきっかけに、医療研究に人生を捧げている臨床学の権威。月森の指導医、沓掛真一の双子の弟でもある。

●その他のキャラクター



古村百恵 *MOMOE FURUMURA*

39歳のベテラン手術助手。面倒見がよく、皆に慕われている。北崎病院の母親的存在。



日比谷克己 *KATSUMI HIBIYA*

官僚として医療行政に携わっていた現厚生労働大臣。日本カドゥケウス理事を兼任する。



明神さやか *SAYAKA MYOUJIN*

日本カドゥケウス麻酔医で元警視庁鑑識。鉄の女と揶揄されるが仲間からの信頼は厚い。



佐倉東吾 *TOUGO SAKURA*

カドゥケウス勤務2年目の若き外科医。月森の大学時代の同期で、局内のムードメーカー。



新垣修也 *SYUUYA ARAGAKI*

カドゥケウスの頭脳。25歳の若さで病理研究室長を務める。少々神経質で、自分中心的。



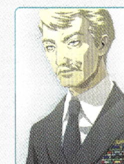
伊東優乃 *YUNO ITOU*

カドゥケウス勤務の看護師。6年目でベテラン格の26歳。多くのギルス患者を担当している。



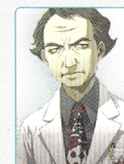
宝生卓而 *TAKUJI HOUSHO*

カドゥケウスのベテラン外科医。42歳。包容力と穏やかな性格は患者の救いとなっている。



ルイス・ウィラー *LEWIS WHEELER*

合衆国カドゥケウスの医局長。51歳。多発する医療テロの現状を国際学会にて発表した。



オーウェン主幹 *OWEN CHIEF EDITOR*

合衆国カドゥケウスの研究主幹。再生医療の権威で、月森に研究への協力を要請する。